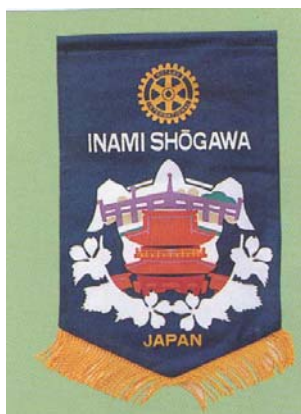




RI 第 2 6 1 0 地区 井波庄川ロータリークラブ会報

2006-07年度 No.9 10月4日発行

事務局 〒932-0211 富山県砺波市庄川町示野 121 リプロ内

TEL&FAX 0763-82-4318、inashorc@athena.ocn.ne.jp

URL <http://www.ftake.com/inasho-rotary.htm>

2006-07年度 会長 上田 昭二、幹事 河合 耕一

2006-07年度 RI テーマ



「率先しよう」

(ウィリアム・B・ボイド会長)

本号目次 ① 9月20日第1344回例会記録 ② 9月27日第1345回例会記録

例 会 記 録

① 第1344回例会

平成18年9月20日(水)井波文化センター例会場

1. 点鐘
2. ソング「我等の生業」
3. 卓話: ゲスト 中西鉄三氏(井波地域町内会連合会長) 紹介者: 斉藤清策会員
4. ビジター…三吉外男君、片山道代君(南砺RC)
5. 米山功労賞伝達…斉藤副会長より、上田昭二会長に伝達授与されました



上田会長のコメント

「今回、会長職にあることで、先に頂く事ができ、大変光栄に存じます。同じ頼母子講の仲間の皆様には感謝します。もう少し務めが残っておりますが、頑張ります。



6. 会長の時間…上田会長「今日は、タイでクーデターというニュースが入り、仕事の関係上、対応に追われています。自民党の総裁選で安倍幹事長が選ばれました。期待します。」
7. 幹事報告…河合幹事「①会長の代理で高瀬神社奉納剣道大会に行ってきました。久しぶりに少年たちの一生懸命な姿を見て感動しました。今、スポーツとして剣道をしています、これが将来、武道から人の道につながると思います。ロータリーとしてはま

た引き続き協賛していきたいです。②納涼例会の写真(会報前号に掲載)をべた焼きで持ってきました。皆さんの姿をご覧ください。③10月第3週は米山奨学生、劉さんの卓話の予定でしたが、都合で1月以降に変更します。

8. ニコニコBOX…後述

9. 案内…水島会員、9月22-24日県民会館にて「表装展」

卓話…中西鉄三氏(井波地域町内

会連合会長)「雑感」



斉藤清策会員紹介：中西さんは元井波庄川ロータリークラブ会員です。

卓話内容「私は、本来なら来るべき立場でないのですが、斉藤清策先生のお声で、一大決心してまいりました。当時、エレクトでしたが、胃の手術や義母の死さらに、アスモの開業などが重なり、退会しました。

今は、直海さんと『井波町の名を残す会』などの活動と一緒にしています。また、4月から、井波地域町内会連合会の会長ということでいろいろな会合に顔を出しております。あて職で会合がいっぱいありますが、任期が1年のため、内容がわからず発言もできない事が多く、これらは改善の余地があります。できるだけ多くに人の意見を聞き、行政に働きかけるよう努力しています。」

ニコニコBOX(本日7名)

中西鉄三氏…謝礼をニコニコBOXへ寄付させてください。

上田会長…中西さんようこそ。米山功労賞、大変光栄で

す。

斉藤彰副会長…先日、「井波美術館」でのコンサート好評でした。

河合幹事…業界紙に原稿が掲載予定、原稿料を前払いでニコニコBOXに寄付します。

斉藤清策会員…先の納涼例会の際の展覧会の大勢、来ていただき感謝しております。中西さんようこそ。

坂井SAA…早退お詫び。

山本会員…週末から大阪で開催された、第1回都道府県対抗少年剣道優勝大会に、娘の応援で行ってきました。予選リーグで山口県には完勝(5人全員勝利)するも、大阪府A(最終的に優勝)に一步及ばず、残念ながら、決勝トーナメントには出場できませんでした。娘も1勝1敗でした。娘にはいい経験になったでしょう。

② 第1345回例会

平成18年9月27日(水)井波文化センター例会場

1. 点鐘…斉藤副会長
2. ソング「奉仕の理想」
3. 卓話「QQの日にちなんで」：小林長会員
4. ビジター…荒井進君(南砺RC)
5. 会長の時間…斉藤副会長「安部新内閣が発足しました。今度の内閣に大いに期待します。仕事の際、付近の老婆が柿の木にクマの足跡を見たそうです。里山荒廃のせいでしょうか、河合さんの活動に今後も期待したいです。」
6. 幹事報告…河合幹事「①10月21-22日小矢部で地区大会です。全員登録しました。よろしく願います。②ガバナー事務所より『CLP』についてのアンケートが来ました。斉藤副会長に聞いて提出します。③米山奨学生の劉さんが、11月11-12日研修会に参加されます。参加費を所属クラブから、ということで負担します。」
7. ニコニコBOX…後述

卓話「ＱＱの日になんで」・・・

小林長会員



内容：今回は、「映像で学ぶＡＣＬＳトレーニング」というビデオで卓話をします。ＡＣＬＳ（Advanced Cardiovascular Life Support）とは二次救命処置のことです。今は、多くの公的施設にＡＥＤ（自動体外式除細動器）という装置が設置され、今までのように医師でなくても簡単な講習を受ける事で、心肺蘇生法（ＢＬＳ）が学べ、いざというときに役立たせる事が必要になってきています。

昔は、心配蘇生法は、ＡＢＣの三つでした。Ａは、Airway（気道確保）、Ｂは Breathing（人工呼吸）、Ｃは Circulation（心臓マッサージ）という意味で、最近ではプラスＤが言われています。Ｄとは、Defibrillation（除細動）といい、心臓に電気ショックを与えることで、ＡＥＤ（自動体外式除細動器）という機器を使えば誰にでもできる手当てです。以下、シミュレーションです。

- ① 突然倒れた人がいたら、まずは声をかけてみて、呼吸の有無、意識があるか確認。反応がないなら、すぐに１１９番に電話をすること。そして、近くにＡＥＤがないか聞くこと。
- ② 次に、まずは、Ａ（気道確保）。あごを持ち上げ、舌根の沈下を防ぐ。嘔吐するといけないので、顔をやや横向けにする。
- ③ 次に、呼吸がなければ、人工呼吸を行う。息を２回吹き込む。直接、口唇同士が触れないようなシートや装置があれば利用する。口腔内に出血が見られたり、有病者かどうか確認できないなら、省略して次

に移っても良い。（肝炎やエイズなどの感染から、身を守ることも大事。）

- ④ 次に心臓マッサージに移る。胸骨の中心（わからなければ乳頭を結ぶ中心）に両手を重ねて、６０回強く押す。③と④を救急車が来るまで、続ける。
- ⑤ また、ＡＥＤ（自動体外式除細動器）が、あれば、音声ガイダンスに従い、実行する。ＡＥＤは、医学の知識がなくても使う事ができる。電気ショックの必要があるかどうか、ＡＥＤが判断してくれる。ＡＥＤを使うときは、倒れた人から必ず離れる。近くにいたり、触れてたりすると感電する。

一般的に、心臓が停止したら４－５分が勝負となります。心臓は、血流が止まって１０分以上たっても快復する力はあるが、脳は５分以上血流がなくなると、かなりの確率で快復したとしても障害が残ります。１０分以上意識がなく心停止していたら、生存退院率は、１０％以下といわれています。まさに１分１秒でも早く電気ショックで快復させる必要があります。

ＡＥＤは、最近では空港や駅、ホテルなども設置するところが多くなり、学校関係でも常備となっています。設置場所にはマークが掲げてあります。井波文化センターにはまだです。（卓話抄録責任：山本）

ニコニコBOX（本日１名）

斉藤副会長…早退お詫び（小林先生に）。

【編集後記】

秋桜がきれいに道端を彩るようになってきました。お盆からこっち、台風らしきものもなく、今年はいい年だと自分勝手に解釈していましたが、県内あちこちで、一昨年のようにクマ出没のニュースが入ってきます。そういえば、６月に時期外れの「大風」が吹き、木の実の発育に影響したのでしょうか。あの時は、昨年まで亡き母が世話をしていた畑に、小生が何十年ぶりに南瓜や西瓜の苗を植えたのが、吹き飛ばされた事件(?)がありました。そういうことが、回りまわって巡ってくるのでしょうか。６月のあの風は、クマには影響大だったのでしょうか。まだ、冬眠まで少しあります。井波や庄川でも油断できませんね。（山本武夫）